

U.S. Indicators

発表日:2023 年 7 月 5 日(水)

米国 製造業の調整幅拡大(6 月ISM製造業指数)

～米製造業部門は需要鈍化、在庫削減で 23 年末にかけて調整を継続する見込み～

第一生命経済研究所 経済調査部

主任エコノミスト 桂畑 誠治(Tel:050-5474-7493)

23 年 6 月の I S M製造業景気指数(季節調整値)は、46.0(前月 46.9)と市場予想中央値 47.1(筆者予想 47.2)への上昇に反して 0.9%p 低下し、製造業部門の調整の深まりを示した。また、I S M製造業景気指数は拡大縮小の分岐点である 50 を 8 ヶ月連続で下回っており、製造業の調整が長期化しつつある。

需要の鈍化、景気の先行き不安の高まりを背景に、新規受注、生産、在庫が基本的に縮小を続けている。また、入荷遅延は供給制約の改善や需要の鈍化によって 50 を 9 ヶ月連続で下回った。製造業の調整が長引くなか、これまで抑えられていた雇用の削減が始まりつつある。

6 月は、製造業の国内総生産の 71%(5 月 76%)が縮小したほか、引き続き縮小した業種が多い。このようなもと、インフレの動向を示す仕入価格指数は低い水準に低下し、インフレ圧力の弱まりを示した。

6 月の構成項目別の変化では、新規受注、入荷遅延が上昇した一方、生産、雇用、在庫が低下した。構成項目別の総合指数への寄与度をみると、新規受注が前月比+0.60%p、入荷遅延が前月比+0.44%p の押し上げ寄与となった一方、生産が前月比▲0.88%p、雇用が前月比▲0.66%p、在庫が前月比▲0.36%p の押し下げ寄与となった。サブ項目では、輸出受注 D I が 47.3(前月 50.0)と低下し、輸出の減少を示した一方、輸入 D I が 49.3(前月 47.3)と上昇し、輸入の減少ペースの鈍化を示唆した。

仕入価格指数は、41.8(前月 44.2)とさらに低下し、インフレ圧力の弱まりを示した。商品別では、電気部品、電子部品等が上昇した一方、プラスチック樹脂、貨物が下落した。また、供給不足品では、引き続き電気部品、電子部品、半導体などが挙げられた。

I S M製造業景気指数

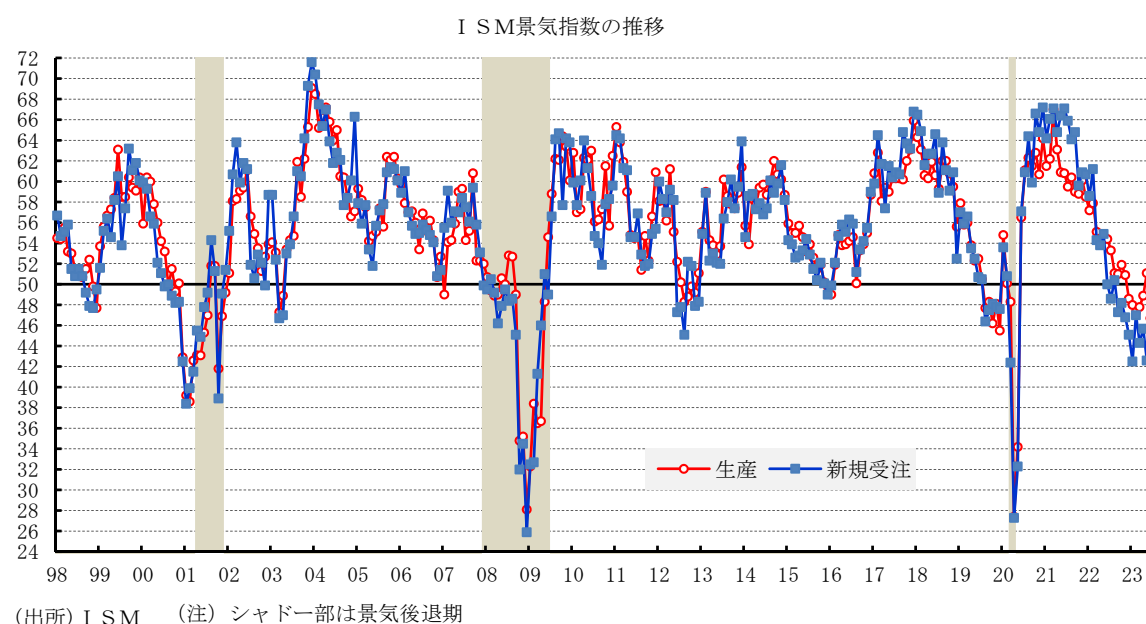
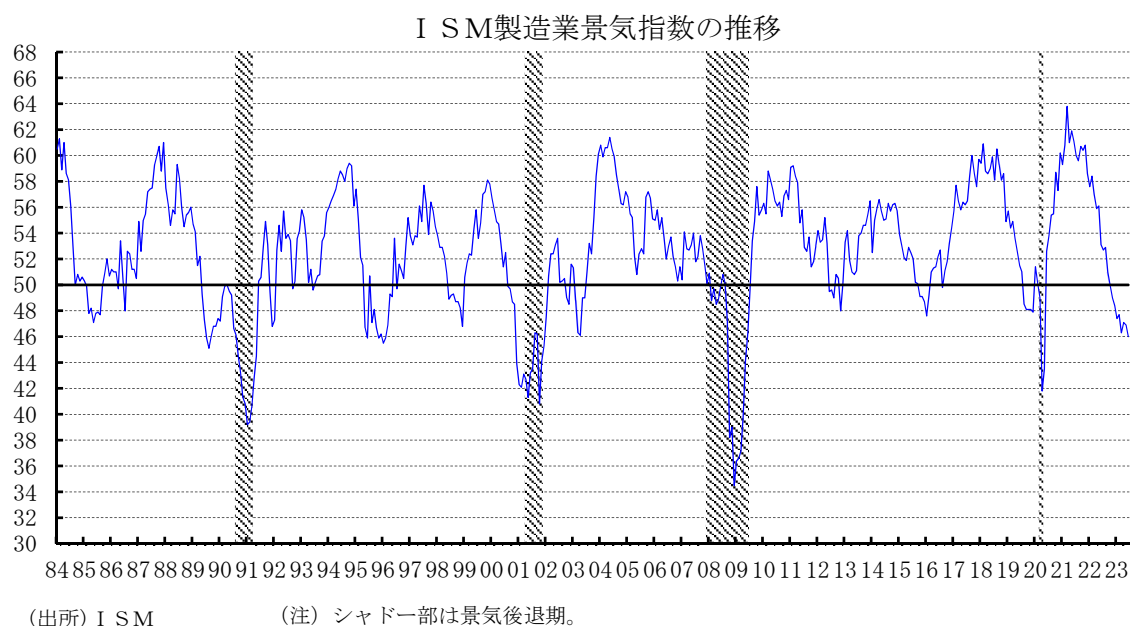
	総合	新規受注	生産	雇用	在庫	入荷遅延	受注残	仕入価格	輸出受注	輸入
22/06	53.1	50.0	54.4	48.1	55.7	57.3	53.2	78.5	50.7	50.7
22/07	52.7	48.6	53.3	49.8	56.6	55.2	51.3	60.0	52.6	54.4
22/08	52.9	50.4	51.1	54.2	53.8	55.1	53.0	52.5	49.4	52.5
22/09	51.0	47.3	51.0	49.3	55.1	52.4	50.9	51.7	47.8	52.6
22/10	50.0	48.2	51.9	49.9	53.0	46.8	45.3	46.6	46.5	50.8
22/11	49.0	46.8	50.9	48.9	51.1	47.2	40.0	43.0	48.4	46.6
22/12	48.4	45.1	48.6	50.8	52.3	45.1	41.4	39.4	46.2	45.1
23/01	47.4	42.5	48.0	50.6	50.2	45.6	43.4	44.5	49.4	47.8
23/02	47.7	47.0	47.3	49.1	50.1	45.2	45.1	51.3	49.9	49.9
23/03	46.3	44.3	47.8	46.9	47.5	44.8	43.9	49.2	47.6	47.9
23/04	47.1	45.7	48.9	50.2	46.3	44.6	43.1	53.2	49.8	49.9
23/05	46.9	42.6	51.1	51.4	45.8	43.5	37.5	44.2	50.0	47.3
23/06	46.0	45.6	46.7	48.1	44.0	45.7	38.7	41.8	47.3	49.3

(出所) I S M : the Institute for Supply Management

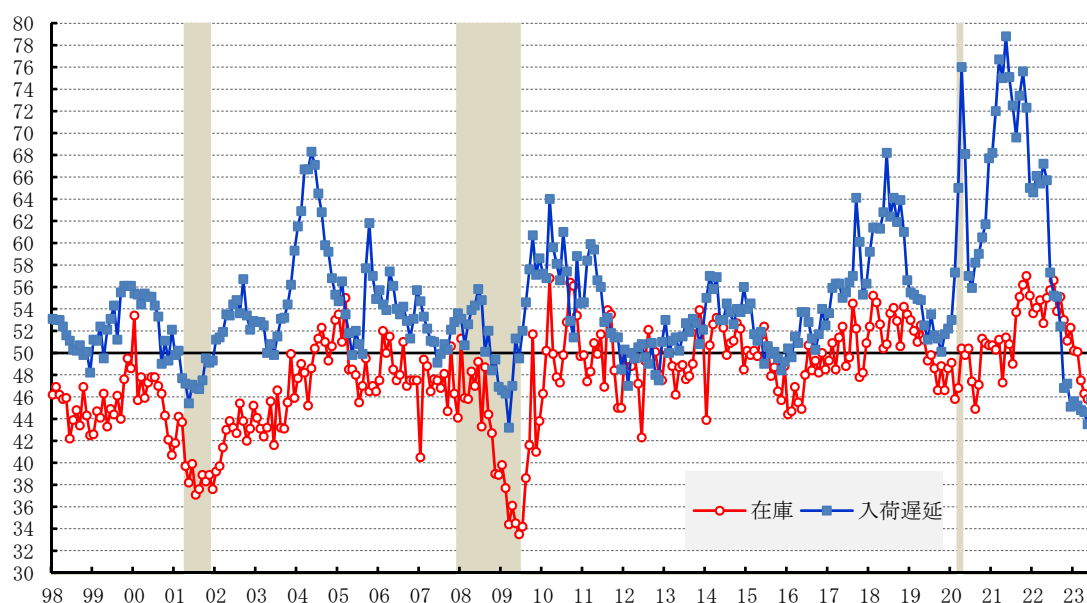


6月は、全18業種のうち印刷・関連サポート活動、非鉄、一次金属、輸送機器の4業種の拡大にとどまり、5月の4業種と変わらなかった（下線は拡大・縮小が2カ月以上続いたことを示す）。主要6業種では、輸送機器の1業種が成長した。一方、縮小した業種は、プラスチック・ゴム、木材製品、繊維、化学製品、その他製造業、電気設備・部品、コンピューター・電子機器、紙製品、加工金属、食品・飲料・タバコ、一般機械の11業種と5月の14業種から減少した。なお、家具・同関連、アパレル・皮革、石油・石炭は横ばいとなった。

先行きに関して、新規受注が45.6（前月42.6）、受注残が38.7（前月37.5）と依然低い水準にとどまっているほか、銀行破綻を受けた信用状況の引き締めによる需要鈍化を背景に、年内、製造業部門の調整が続くと予想される。

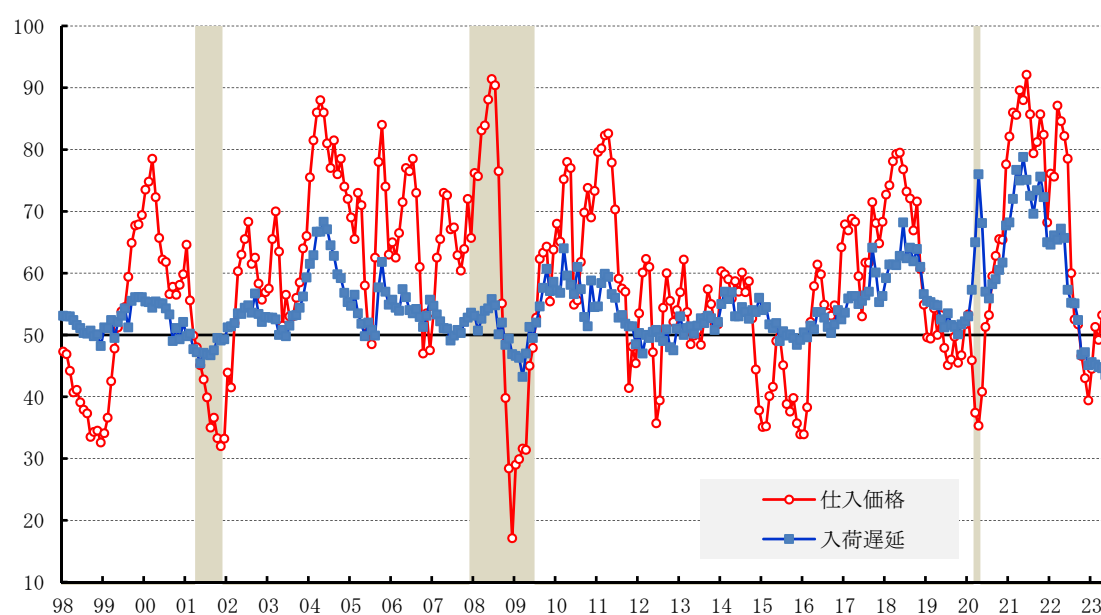


ISM景気指数の推移



(出所) I S M (注) シャドー部は景気後退期

ISM景気指数の推移



(出所) I S M (注) シャドー部は景気後退期

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

